



平成28年11月7日

各位

会社名 株式会社セコニックホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 馬場 芳彦
 (コード番号 7758 東証第2部)
 問合せ先 取締役管理本部長 鈴木 章浩
 (TEL 03-5433-3611)

営業外費用（為替差損）の計上ならびに第2四半期連結累計期間および通期の業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成29年3月期第2四半期連結累計期間（平成28年4月1日～平成28年9月30日）におきまして、下記のとおり営業外費用（為替差損）が発生しましたのでお知らせします。

また、平成28年5月20日に公表しました平成29年3月期第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 営業外費用（為替差損）の計上について

平成29年3月期第1四半期連結累計期間（平成28年4月1日～平成28年6月30日）において、為替差損として221百万円を営業外費用に計上しておりましたが、その後の為替相場の変動などにより、平成29年3月期第2四半期連結累計期間（平成28年4月1日～平成28年9月30日）において、為替差損245百万円が発生いたしました。これは、主として、当社連結海外子会社への外貨建貸付金および連結子会社における外貨建債権・債務を当四半期末時点の為替相場で評価替えしたことにより生じたものであります。

なお、平成28年7月29日付「子会社に対する債権の株式化（デット・エクイティ・スワップ）」に関するお知らせ」で開示しております中国連結子会社に対する貸付金の株式化につきましては、平成28年9月下旬にその手続きを完了しております。

2. 平成29年3月期第2四半期（累計）連結業績予想の修正（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	4,000	100	100	60	35.03
今回発表予想(B)	4,043	163	△76	△92	△53.89
増減額(B-A)	43	63	△176	△152	
増減率(%)	1.1	63.3	—	—	
(ご参考)前期同四半期実績 (平成28年3月期第2四半期)	4,944	7	△18	△179	△104.85

3. 平成 29 年 3 月期連結業績予想の修正（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	8,000	250	250	150	87.58
今回発表予想(B)	8,000	310	70	60	35.04
増減額(B-A)	—	60	△180	△90	
増減率(%)	—	24.0	△72.0	△60.0	
(ご参考)前期連結実績 (平成 28 年 3 月期)	9,065	109	△86	△338	△197.68

※当社は、平成 28 年 10 月 1 日を効力発生日として、10 株を 1 株とする株式併合を実施したため、平成 28 年 3 月期の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1 株当たり四半期（当期）純利益を算定しております。

4. 修正の理由

第 2 四半期連結累計期間における売上高につきましては、若干の増収となる見込みです。損益面につきましては、営業利益については、露出計等の光学電子情報機器の売上が堅調であったことに加え、生産性の改善や発生費用の縮減による原価低減に取り組んだ結果、当初予想を上回る見込みです。経常損益につきましては、上記 1 のとおり営業外費用に為替差損を計上したことから、損失計上となる見込みです。また、親会社株主に帰属する四半期純損益につきましては、第 1 四半期連結累計期間において減損処理による投資有価証券評価損を計上した当該株式について、第 2 四半期連結累計期間においても株価の回復がなかったため損失計上となる見込みです。

通期の業績につきましては、当第 2 四半期連結累計期間の業績を踏まえ、修正することといたします。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上